

ILO・アチェ緊急ハローワーク（ESPANAD）で働いて

栃林 昇昌（とちばやし のりまさ）

求人開拓コンサルタント

ILO バンダアチェ事務所（インドネシア）



私が乗った飛行機は、着陸するまでにバンダアチェの上空を3度も旋回しました。昨年末のスマトラ沖大地震・大津波から2ヶ月、上空から見たバンダアチェに建物らしきものはなく、陸地にできた巨大な水溜りは津波の激しさを物語っていました。「壊滅した街」の姿は、今でも忘れることはありません。

私は、2005年2月から4月6日までバンダアチェにボランティアとして滞在しました。前半はインドネシア赤十字で、後半の1ヶ月ほどはILOで仕事をしました。赤十字で活動をする中で、私は多くの失業者と出会いました。彼らは決まって「インドネシア赤十字で働くことはできないか？」とか「何か仕事をくれないか？」と尋ねてくるのです。雇用は人々の生活の柱。失業問題の解決なくして、人々は安定した生活を取り戻すことはできませんし、バンダアチェの復興もありません。失業問題解決の一端を担えればと考え、私は行動を開始しました。失業問題に直接関わっている現地の支援機関を探し、見つけたのがILOでした。私は早速ILOバンダアチェ事務所に飛び込み、その場でボランティアになりました。

ILOでの所属先はアチェ州雇用サービス(ESPANAD: エスペナード)、いわば緊急ハローワークのような所です。ILOとインドネシア労働省の共同プロジェクトとして、2月に設立されました。私のポジションは「求人開拓コンサルタント」で、ポスターやパンフレットなどを持って、求人を探しに、毎日バンダアチェ市内のNGO、民間企業、政府・国際機関を回っています。

エスペナードが行っている雇用サービスのスキームは、次のとおりです。まず、求職者にエスペナードまで出向いてもらい、求職者登録フォームに記入してもらいます。記入後は面接を行い、技能・技術や経験、また連絡先等求職者に関する情報を確認します。このプロセスを経て、求職者情報はデータベースに入力されます。求職者登録フォームは紙なので、データベースの作成には、データエントリー専門の人が昼夜を問わずコンピュータに登録情報を入力しています。他方で、エスペナードでは雇用主に求人情報の登録をしてもらっています。具体的には、私がNGO、民間企業、政府・国際機関など雇用機会がありそうなありとあらゆる組織・団体を回り、エスペナードの雇用サービスを広報すると同時に、求人が発生した際には求人情報登録フォームに記入してエスペナードに送ってもらうようお願いしています。

集められた求職者と求人情報をもとに、実際のマッチングが行われます。求職者情報は個人情報ですので外部には公開していませんし、求人情報も一般に公開していません。求人情報を公開したら、契約条件、特に賃金について各組織・団体間の差が白日の下にさらされ、災害直後の不安定な労働市場においては混乱を招きかねません。情報の公開は、求人情報を提供した雇用主にとって不利益になることもあり、雇用主が求人情報をエスペナードに渡すことを躊躇する原因になります。ですから、求職者と雇用主はエスペナード内部でのみ結び付けられます。

これまでに私が採用候補者を送った組織・団体は、UNDP、UNFPA、FAO、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)、Save the Children、Oxfam、Mercy Corp、Merlin、Bank Mandiri、などです。また、JICA、Peace Winds Japan、国際赤十字社(ICRC)、CRS、Kantor Gouvnor(州政府)なども訪問しました。4月23日にはアチェに戻り、今度はILOバンダアチェ事務所のスタッフとして、職業紹介の仕事を続ける予定です。今後もアチェのNGO、民間企業、政府・国際機関を回って求人を集めるつもりですので、求人の際は、ぜひご連絡下さい。

(ESPANAD: JL. Kesatria BLK, Geuceu Komplek, Banda Aceh, NAD, Tel: 0651-48056,

Mail: jobsforacehnese@yahoo.com, Nori Tochibayashi's Mobile :0813-1929-2581)